

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

TOPICS

一般職業紹介状況(令和6年3月分及び令和5年度分)について

～公共職業安定所(ハローワーク)における求人、求職、就職の状況をとらまとめ～

【ポイント】

- 令和6年3月の有効求人倍率は1.28倍で、前月に比べて0.02ポイント上昇。
- 令和6年3月の新規求人倍率は2.38倍で、前月に比べて0.12ポイント上昇。
- 令和5年度平均の有効求人倍率は1.29倍で、前年度に比べて0.02ポイント低下。

厚生労働省では、公共職業安定所(ハローワーク)における求人、求職、就職の状況をとらまとめ、求人倍率などの指標を作成し、一般職業紹介状況として毎月公表しています。令和6年3月の数値をみると、有効求人倍率(季節調整値)は1.28倍となり、前月を0.02ポイント上回りました。新規求人倍率(季節調整値)は2.38倍となり、前月を0.12ポイント上回りました。正社員有効求人倍率(季節調整値)は1.03倍となり、前月を0.02ポイント上回りま

した。3月の有効求人(季節調整値)は前月に比べ0.9%減となり、有効求職者(同)は1.9%減となりました。3月の新規求人(原数値)は前年同月と比較すると7.4%減となりました。

これを産業別にみると、学術研究、専門・技術サービス業(1.6%増)で増加となり、製造業(10.8%減)、生活関連サービス業、娯楽業(10.5%減)、教育、学習支援業(10.5%減)などで減少となりました。

都道府県別の有効求人倍率(季節調整値)をみると、就業地別では、最高は福井県の1.94倍、最低は大阪府の1.07倍、受理地別では、最高は福井県の1.80倍、最低は神奈川県0.93倍となりました。令和5年度平均の有効求人倍率は1.29倍となり、前年度の1.31倍を0.02ポイント下回りました。令和5年度平均の有効求人は前年度に比べ1.6%減となり、有効求職者は0.1%増となりました。

<厚生労働省2024年報道発表資料より>

MEMO

ビジネスひとロメモ

コミュニケーションとは

【目的】

- ①正しく相手に理解してもらう②相手に行動してもらう
- ③得たい結果を出していく

- 伝え手 誰がコミュニケーションをするのか
- 受け手 誰にコミュニケーションをするのか
- コンテンツ コミュニケーションの内容
- トーン コミュニケーションの調子や表情など
- メディア コミュニケーションに用いる手段
- 伝える状況 どのような状況でコミュニケーションをするのか

コミュニケーションは、「受け取る側」によって成立します。コミュニケーションにおいては何を伝えたかではなく、「どのように伝わったのか」が大切なのです。「あなたが伝えた=相手に伝わった」ではありません。「あなたが想像したもの=相手が想像したもの」ではありません。「言葉が伝わった=内容が伝わった」ではありません。

INFO

① 事務局より

ハラスメント研修実施しました



オンラインでハラスメント研修を実施しました。ハラスメントに関する事業所の義務やハラスメントの種類、それぞれの定義やこういった内容がハラスメントに該当するかといった基礎知識編とハラスメント防止策の1つとしてのコミュニケーション編の2部構成です。ご興味のある方は資料やアーカイブも準備をしておりますので、お声かけください。